

ごあいさつ

いっせい地方選挙でのご支援を、ありがとうございました。
フレッシュで多彩な12人の府会議員団は、住民と力をあわせ、暮らしを守り、公約実現のため全力をあげてまいります。
今回の『府会だより』は、6月定例府議会の報告です。初めてお届けする方もございますが、どうぞ、お読みください。
また、ご意見・ご感想などもお寄せください。



新型肺炎(SARS)問題で、亀岡市・宮津市を激励、要望を聞く

議員団の体制

団 長／松尾 孝
副 団 長／梅木 紀秀
幹 事 長／新井 進
副幹事長／前窪義由紀

松尾 孝 農林商工常任委員
少子高齢社会・青少年対策特別委員

新井 進 議会運営委員会理事
総務常任委員
産業雇用活性化特別委員

梅木 紀秀 議会運営委員
建設常任委員
京都再生・フロン戦略特別委員

前窪義由紀 議会運営委員
警察常任委員
環境・防災対策特別委員

島田 敬子 文教常任委員
総合交通対策特別委員

加味根史朗 総務常任委員
少子高齢社会・青少年対策特別委員

光永 敦彦 厚生労働常任委員
地方行政改革特別委員会副委員長

本庄 孝夫 文教常任委員
地方行政改革特別委員

原田 完 農林商工常任委員
京都再生・フロン戦略特別委員

久守 一敏 建設常任委員
総合交通対策特別委員

山内 佳子 警察常任委員
環境・防災対策特別委員

西脇 郁子 厚生労働常任委員
産業雇用活性化特別委員



京田辺市で産業廃棄物が不法投棄された現場を調査



日本共産党京都府会議員団

府会だより

6月定例議会
2003年6月26日
7月11日

編集・発行／日本共産党京都府会議員団

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府議会内

075(414)5566 075(431)2916 e-mail giindan@cp-kyotofukai.gr.jp

発行責任者／榊井 義行

August 2003 No.279



松尾 孝 議員(伏見区)

松尾議員は、冒頭、知事が知事選挙で掲げた「国に物を言う」「今に立ち向かう」などの「改革姿勢」とは裏はらに、府民の生活が大変な時に、「当初の予定に沿ったもの」と冷たい態度であることを挙げ、府民の「いま」の苦悩に「立ち向かう」こともできずに、何が「現地現場主義」かと指摘しました。

あわせて、市町村合併問題について、「住民自らの判断で行うもの」と言いながら、丹後六町では、おしつけ合併を推進するなど、「府民参加」の公約も実態を伴わないものであると、厳しく批判しました。

そのうえで松尾議員は、今、府民が「ムダをはぶ

き、暮らし・福祉優先の府政を」を求めており、二百六十万府民の知事として、国の悪政に抗し、住民福祉の向上をはかるよう強く求め、府政の当面する課題、重要課題について質問しました。

乳幼児医療費は、通院も就学前まで完全無料化に

府は九月から入院は就学前まで無料、通院は八千円をこえる分を助成するよう（現行は、ともに三歳未満児を対象）改善しますが、松尾議員は、先行実施している八幡市での実績や、京都府保険医協会のアンケート調査結果などを示し、助成の対象はごく一部で「絵に描いたもち」になっていると批判。通院も、入院同様、無条件で就学前まで無料にするために必要な予算は、年間ベースで

十一億円であり、すぐに実現できると、九月からの実施の決断を求めました。

【知事】
世代間の負担のバランスも考慮の上、きびしい財政状況ではあるが、何とか所得制限を設けることなく、全国的にも高い水準になるよう、精一杯の支援を行っていくこととしており、ご理解をいただきたい。

**住宅改修助成制度
抜群の経済効果
府として実施を**

住宅改修助成制度については、すでに自治体独自に制度を実施している網野町や京田辺市などでの実績を紹介。住宅改修助成制度を府が実施すれば、その効果は府内全域に及び、不況にあえぐ建築関係業者への大きな支援になると、府としてぜひ実施すべきと提案しました。

ムダをはぶき、暮らし・福祉優先の府政こそ、府民が求めるもの

真の改革に反する山田知事の姿勢

代表質問に立った松尾孝団長は、府会議員選挙での府民のご支援に感謝を述べ、今後の取り組みの新たな決意を表明。この一年の山田知事の政治姿勢への評価、当面の府民の暮らしを守る対策、府政の重大課題について質問しました。

代表質問

【知事】
 全力をつくし総合的な雇用不況対策を構じる中で、「府管住宅ストック総合活用事業」などに鋭意取り組んでおり、こうした施策があいまって、府内の中小業者の方々の仕事確保にもつながるよう努めている。

京都市内高速道路、関空二期工事、畑川ダムなどムダな公共事業、大型開発の中止・見直しを

京都市内高速道路計画が、工事中の二路線だけで府の負担は四十五億円と、莫大なものになること、大量の車を市内に呼び込み、渋滞をかえってひどくし、大気汚染、環境破壊を進めるものであると説明。関空二期工事や、畑川ダムなどについても一つひとつその問題点を指摘して中止を求め、「ムダな公共事業の見直しは今や時の流れ。公共事業優先政策のなかで破綻した地方財政を立て直すためにも、避けて通れない」と、南丹ダムの中止に続いて、不要不急の公共事業の見直しを積極的に進めるよう強く求めました。

【知事】
 (京都高速道路は)厳しい財政状況のもと、京都市とも連携しながら、国や阪神高速道路公団に対しては、これまで以上にコストの縮減や、引き

続き地域住民との協議の継続、適切な環境対策を実施するよう求めてまいりたい。

拙速な保健所・地方振興局などの統廃合をやめ、府民、関係者の声をよく聞き、慎重に行え

保健所などの統廃合は、新型肺炎対策で保健所が果たした役割などからみても大きな問題点を抱えており、宮津市長など多くの首長や議会が問題ありとしていることを紹介。府民への情報提供も不十分であり、公聴会の実施などが必要。拙速な再編統合は避け、実施を延期し、住民の声、関係者の意見をよく聞いて慎重に行うよう求めました。

【知事】
 様々な意見を踏まえながら、現地現場主義のもとに、地域に根ざし、府民の視点に立つた行政を展開していける体制をめざし、ひきつづき検討を進め、一つの目途としている。来年春季の実施に向け取り組んでまいりたいと考えています。

市町村合併の押しつけをやめ、「住民投票」を支持せよ

丹後六町の合併について住民の不安が広がり、住民投票を求める直接請求運動も開始されていることを紹介。「合併は住民自らが決めること」と言われるのなら、住民投票を積極

的に支持し、推進すべきだと知事に求めました。

【知事】
 丹後六町におきましては、住民の代表である議会の議決により法定協議会が設置され、住民の意識調査の実施や住民説明会の開催などを通して住民の意向を踏まえながら、真剣な協議を重ねられたところであり、こうした市町村の自治に基づく取り組みを知事としては当然尊重すべきと、考えている。

質問を終えて

山田知事が選挙戦の中で示した「国に物を言う」、「今に立ち向かう」、「改革」、「現地現場主義」などの政治姿勢。知事就任後1年、これらの姿勢は、今どう現れているのか。代表質問では、この角度から知事を質しました。

結果は府民の皆さんの期待を見事に裏切るものでした。医療費の3割負担や高齢者医療費の上限引き下げについて、「皆保険制度を国民全体で支えることが必要」「高齢者も現役世代と負担を分かち合うもの」などと「国にものを言う」どころではありません。「現地現場主義」というのなら、乳幼児医療費無料化の8千円の条件をただちに撤回すべきですが、「ご理解いただきたい」というだけです。自衛隊のイラク派兵も「国際社会の一員として一翼を担うもの」との答弁にいたっては政府の言い分そのままです。「市内高速自動車道」、「関空2期工事」も「必要なもの」と公共事業見直しの姿勢はみじんもありません。

知事の言葉が全くの空文句に過ぎないことがますます明らかになった議会でした。 **〈松尾〉**

その他の主な質問項目

- 医療費問題について
 医療費本人3割負担を二割に戻すことを国に求めよ。
- 「高額医療費償還払い制度」の周知徹底、「受領委任払い方式」などの実施。
- SARS対策の強化について
- 「中小企業あんしん借換融資」の改善
- 国の新しい米政策への対応について
- 地方自治体の存在を脅かす「三位一体」改革について
- 教育基本法の「改正」について
- イラク新法、有事法制について



一般質問

スタートした障害者支援費制度、周知徹底と基盤整備への支援を

加味根 史朗 議員(右京区)

加味根議員はまず、今年四月からスタートした障害者の支援費制度について質問しました。すべての障害者への周知徹底を求めるとともに、



近くに事業者が少ないために、サービスを受けたくても受けられない事態が生まれているなど、基盤整備の遅れを指摘しました。

また障害者基本計画を見直し、基盤整備の推進と、グループホームやショートステイ、ホームヘルプサービスなどへの支援強化を求め、障害をもつ乳幼児の通園事業にかかる経済負担の軽減を求めました。

答弁／周知徹底に努め、円滑に新制度に移行した。今後も実態把握に努め、国に必要な制度改善を提案するなどしたい。

次に、国道9号京都西立体交差事業について、島津製作所が実施した交通量調査の結果等をふまえて、右京区の交通渋滞の緩和に役立たないどころか、トンネルの入口付近で渋滞が激しくなる危険があることを指

摘し、抜本的な見直しを求めました。

答弁／国道9号の渋滞対策として必要な事業と考えている。

アトピーの深刻な実態。府として 予防対策のガイドライン策定、 年齢別・階層別の実態調査を

西脇 郁子 議員(下京区)

府議会での初めての一般質問にたった西脇議員は、「子どもの医療費の無料化拡充や福祉・社会保障の充実など、府民が安心して住み続けられる京都府をめざして、全力でがんばります」と切り出しました。

急増するアレルギー性疾患について、京都アレルギー児を持つ親の会のみなさんなど、大変な苦勞をされている関係者の生の声を紹介。府の

問題だらけの支援費制度

質問を終えて

支援費制度は、問題だらけという印象です。制度の周知徹底では、「これまでサービスを受けた人に限った」というのが現実です。支給決定を受けた障害者へのサービスは、事業所が広域で対応しているけれども、「対応しきれない」「施設も人材も足りない」と悲鳴が上がっています。ある事業所では、「ヘルパーが確保できないので20人近くの方に契約を待ってもらっている」という現実も。乳幼児の療育をすすめるデイサービスで、自己負担が生じて療育に支障が出る状況まで起きています。府は、「ひきつづき体制整備に努め、国に財源確保を求めたい」「保護者負担の軽減は国に要望する」という答弁にとどまりました。障害をもつ人の声に耳を傾け、施設や体制を抜本的に充実しなければと痛感しました。

〈加味根〉



6月議会では初めて一般質問に立たせていただきました。質問を準備するにあたって、アレルギーの子を持つ親の会や新婦人のお母さん、小児科医や保健所の職員さんなどたくさんの方のお話を聞かせていただきましたが、改めてお母さんや現場でがんばっておられる方たちの声を議会にまっすぐ届ける議員の役割の重みを痛感しました。

与党の議員からのヤジも飛び交いましたが、「私の質問にはたくさんのお母さんや子どもたちの思いが詰まっているんだ。よし、がんばろう!」と声もひと際大きくなりました。

これからも介護、国保料、雇用、伝統産業など幅広い住民のみなさんの声が届く京都府となるようがんばります。ご支援ください。

質問を終えて

〈西脇〉



梅木議員はまず、岩倉団地では、五軒に二軒が高齢者の一人暮らしであることなど、公営住宅法の改悪で、働き盛りの世代が追い出され、府営住宅の高齢化が急速にすすんでいる実態を示し、団地の清掃活動が困難になっているだけでなく、地震や火事の際に誰がお年寄りを守るのかと、高齢化に見合った総合的な対策

高齢化する府営住宅、 実態に見合った改修を

梅木 紀秀 議員(左京区)

る中、統廃合でなく機能充実をと要望しました。
また、西脇議員は、子どもの医療費無料化について、多くの府議選立候補者が、府保険医協会のアンケー

トに対し「拡充すべき」と答え、この場にいることを示し、「通院も就学前まで無料に」と要求。「食の安全対策」についても、食品衛生監視員の計画的な専任配置を要望しました。

知事のハートを示せ 質問を終えて

京都中央農協は久多、広河原、別所の店を9月いっぱい廃止する。おまけに、生鮮食料品は花背支店にも置かないという。面積101km²、左京区の40%を占めるこの地域に生鮮食料品を売る店がなくなるのである。地域の将来を閉ざすひどい話である。

「農協がなくなるということは、久多がなくなるということだ」という久多のお年寄りの声を紹介し、「知事が農協に働きかけを」と求めたが、知事は答弁に立たず、「府に権限はない」と部長が答えた。「村を守りたいという地域のみなさんの藁にもすがる思いに応える気はないのか」と再質問したが、知事は答弁に立たなかった。蟻川知事だったら…という思いがこみ上げてきた。

効率優先で、弱者を切り捨てる政治がはびこっている。

〈梅木〉

を、年次計画を立てて改善するよう求めました。また、地元中小業者への仕事おこしの観点からも、畳やふすまの張替え、集会所のトイレを洋式にすることなど、高齢化と老朽化に対応した「快適で早目のメンテナンス」が必要であると提案しました。

洛北高校の中高一貫教育導入について、子どもたちの受験競争を過熱化、低年齢化させると指摘。「そうならない根拠を示せ」と追及し、父や子どもたちの願いにこたえ、希望する高校に通える条件の整備こそ力を入れよと要望しました。

受験競争の低年齢化・過熱化を
あおる中高一貫教育には問題あり

次に、京都中央農協久多・広河原・別所営業所廃止の問題では、地域の将来に関わる大問題であり、知事自ら農協に働きかけるよう迫りました。

答弁 / 中小業者の仕事確保にも配慮し、計画的に改修する。入居者の高齢化も進み、団地の草刈りなど困難な活動を支援する。

意見書 討論

前窪 義由紀 議員
(宇治市・久御山町)



矢口まさあき衆院京都6区予定候補とともに

六月議会には、日本共産党提案の「イラク復興支援特別措置法案の撤回を求める意見書案」「学校施設整備の予算拡充を求める意見書案」「義務教育国庫負担制度の堅持を求める意見書案」の三意見書案と他党派提案の「ヤミ金融対策の強化を求める意見書案」「医薬品の一般小売店における販売に関する意見書案」の計五意見書案が提案されました。前窪議員は、提案されたすべての意見書案に賛成の立場で討論を行いました。わが党提案の三意見書は他党派の反対で否決されまし

6月議会では、アメリカのイラク占領に自衛隊を派遣する「イラク特措法」に反対、小中学校の普通教室にクーラーの設置など「学校施設整備の予算拡充」等の意見書を採択して、国に要望することを求める本会議討論に立ちました。

討論を終えて

しかし、自民・公明はもちろん民主まで、討論もせず、理由なしに否決したのは道理のないことだと実感しました。

改選後、私は議会運営委員会と警察常任委員会、環境・防災特別委員会に所属し、議会運営全般、市民の安心・安全を守る警察行政、また、廃棄物の不法投棄規制等の環境対策、地震・風水害等から命と財産を守る防災対策などを重点的に担当することになりました。もちろん、福祉、教育、土木など住民生活に密着する課題も、当然、全力で取り組みます。

〈前窪〉

た。「イラク特措法案の撤回を求める意見書案」の討論では、自衛隊の派遣は、軍事占領の加担であり、世界の反発を強め日本への信頼を損なうこと、イラク軍事占領の泥沼化の中、イラク特措法案の矛盾もますます深まっており、法案は撤回されるべき、国会では民主党も反対している」と意見書採択の賛同を求めました。教育関係の二意見書は、小中学校の教室のクーラーの設置などを求めるものと義務教育費の国庫負担削減に反対する意見書ですが、他党派は採択に反対し

けい子の府議会日記

島田敬子(右京区)



3期目のスタートです。私は引き続き文教常任委員となりました。

文教委員会の焦点の1つは、「30人学級」の実現の課題です。府教育委員会は、少人数指導のあり方や学校5日制問題などをテーマにした「まなび教育推進プラン」について引き続き検討会議を開催し、すでに具体化している小学校低学年における複数指導や少人数指導などの成果の検証や課題の検討を行うとしています。問題は、それらが密室審議で行われているということ。会議の公開や府民参加の拡充を求めました。また、乙訓地域などで導入された習熟度別編成による授業が、子どもたちに新たな負担をもたらしていることを保護者の声を紹介して追及。

30人学級は全国的にも広がっています。子どもの心に寄り添った改革を引き続き求めていきます。(写真は和束町の国道163号線で、通学路や歩道整備の調査)



伝統産業の仕事確保へ 一歩前進

新井 進(北区)



2月議会で「伝統工芸の実演を通年化し、さらに京都駅など拡大してはどうか。職人さんの仕事確保と、京都らしさの発信にも」と提案したことが、今年の事業で一歩前進しました。

去年は2カ月だった「実演」を、今年は京都市とも協力して8カ月間実施することになり、働く期間も1カ月が、2カ月に延長されました。さっそく関係者に連絡すると「2カ月で60万円の収入が得られれば、これは助かる」と喜ばれています。

いま、「西陣を守りたい」「西陣で生活できるように」との関係者の努力が始まり、多くの知恵が出されています。「伝統工芸品学校活用事業」もこうした人たちの提案で実現したものです。「西陣起こし」のネットワークをつくり、新しいものづくりを前進させたいと思います。

(写真は西陣対策協議会総会で、西陣の仕事おこしなど話しあう)



議案 討論

本庄 孝夫 議員
(山科区)

討論に立った本庄議員は冒頭、長崎市での幼稚園児誘拐殺害事件で、中学一年生が補導され、全国に衝撃を与えている問題にふれ、被害者のご両親に哀悼の言葉を述べるとともに、子どもと教育を

「落ちこぼれのために予算をかけすぎた。そのための金をエリートのために割り振る。非才・無才はただ実直な精神だけでいいのだ」。教育課程審議会会長であった三浦朱門氏の発言です。6月定例府議会の最終日、本会議場で「洛北高校への中高一貫教育の導入」に反対の討論をおこないました。『作文特訓講座』-早速、大手「学習塾」が中学入試コースを募集、「特定の学校」への導入が、受験競争の過熱化と低年齢化を招いています。国連子どもの権利委員会からも批判と是正が勧告された競争主義と管理主義の教育政策の転換こそ待たなすです。相次ぐ少年事件に心が痛みます。どの子ども人間として大切にされる教育の実現へ全力でがんばります。
〈本庄〉

ぐる深刻な状況の解決のためにも、競争主義・管理主義教育の転換こそ求められていると指摘しました。

府立洛北高校での中高一貫教育の選択的導入について、小学校からの受験競争の過熱化、低年齢化を招くものであり、反対であると表明。その上で、自らの教師時代の経験も紹介し、希望するすべての子どもへの高校教育の保障、格差なく安心して通える地域の高校の充実、人間的に豊かな高校生活を保障する改革こそ必要であると主張しました。

また、舞鶴の和田埠頭の建設工事にかかわる請負契約案件については、府が外国貿易の計画取扱貨物量を過大に見積もっていることを具体的に示し、五百億円もの大金をかけて大水深バスをつくる必要はないと反対を表明しました。

新型肺炎（SARS）対策や、緊急雇用対策など、その他の議案については賛成しました。



舞鶴養護学校建設予定地で

日々雑感

原田 完(中京区)



京都府議会の京都再生・ブランド戦略特別委員会で京都の伝統産業・伝統工芸の後継者、技術の伝承で質問をしました。中京区壬生地域は私が群馬から18歳で京都に出てきて以来の活動の場です。地域の地場産業の京友禅の中心的産地でした。現在は板場友禅の衰退で職人さんの顔が見えず、染められた友禅板が干してある風景は見られなくなってしまいました。手彫り染型の業者の話を聞くと、もうすでに後継者のいるような型屋はなくなってしまっている。このままでは、三重県の白子(鮫小紋型彫り産地)のように壊滅してしまうと危惧していました。

京都の伝統産業・伝統工芸技術はレッドデータ業種となっているときに、行政の果たす役割は何なのか。議員の果たす役割はこの声を議会に届け、行政に反映をする仕事とさらに決意を新たにしました。(写真はスーパー銭湯問題でこくた衆議院議員とともに対話)



光永議員に聞く！

光永敦彦(左京区)



記者/地方選挙後、初めての本格的な議会でしたね。
光永議員/はい。議員団の中では37歳と一番若いものの、2期目となり、責任の重さを痛感しながらの毎日でした。
記者/厚生労働常任委員会の審議はどうでしたか。
光永議員/私は国民健康保険の一部負担金減免制度の市町村での具体化や、若年者就業支援センターの運営に青年の声を反映させること、また、保健所の統廃合問題などで論戦しました。保健所問題では、「サービスは後退させない」とこたえるものの、具体的根拠についてはまったく示せず、与党からも「急いだ統廃合は問題だ」と声がとぶような事態でした。
記者/地方行政改革特別委員会副委員長になりましたね。
光永議員/田中自民党議員が、特別委員会委員長を「引責辞任」せざるをえなくなり、それに伴って、私が副委員長となりました。期待にこたえて、がんばります。(写真は「かえるネット」の宣伝)



6月定例府議会に提出された請願、意見書案

請願名	請願者名	紹介議員 会派	審査 結果	共 産	自 民	民 主	公 明	新 政
イラク特措法の廃案に関する請願 ほか8件	安保破壊実行委 員会ほか	共産	不採択	○	×	×	×	×
「医薬品の一般小売店における販 売」について慎重審議を求めるこ とに関する請願	社団法人京都府 薬剤師会ほか	自民・民主・ 公明・新政	採択	○	○	○	○	○

意見書案	提案者	採決の 結果	共 産	自 民	民 主	公 明	新 政
イラク特措法の撤回を求める意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
学校施設整備の予算拡充を求める意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
義務教育国庫負担制度の堅持を求める意見書案	共産	否決	○	×	×	×	×
ヤミ金融対策の強化を求める意見書案	自民・民主・ 公明・新政	可決	○	○	○	○	○
「医薬品の一般小売店における販売」に関する意見 書案	自民・民主・ 公明・新政	可決	○	○	○	○	○

府政 トピックス

詳しくはホームページ
<http://www.jpq-kyotofukai.gr.jp/>

- ◆府南部、北部の6月府議会報告・要求交流集会を開催（7/23、24）
- ◆丹後町合併で、住民団体が「直接請求前に調印するな」と知事に要請（7/22）
- ◆6月定例府議会の報告会を開催（7/17）
- ◆住民の意思を尊重し、「合併調印」を強行するなど知事に申し入れ（7/17）
- ◆護衛艦「はるな」のインド洋派遣を中止せよとの申入れに梅木議員が参加（7/15）
- ◆「中小企業あんしん借換融資」の実施期間が12月まで延長に（6/26）
- ◆6月定例府議会が始まる。会期は7月11日までの16日間（6/26）
- ◆瑞穂町の産廃不法投棄現場を調査。園部保健所に撤去と原状回復の指導を求める（6/23）
- ◆「京都の保健所を減らさないで！緊急府民懇談会」に、光永議員が参加し、報告（6/19）
- ◆「中小企業あんしん借換融資」の期間延長を府に申入れ（6/9）
- ◆新型肺炎（SARS）問題で、亀岡市と宮津市を訪問・激励し、要望を聞く（6/4）
- ◆議会の活性化と「開かれた府議会」とするための申入れ（6/3）
- ◆木津川右岸運動公園（仮称）整備計画検討委員会を、前窪議員が傍聴、現地調査（6/2）

思いをいかに 伝えるか？

山内佳子(南区)



初議会が終わり、警察常任委員会、環境・防災特別委員会それぞれ、子どもの安全を願うお母さんの願い、自然と環境を守りたいと願う方々の願いを、現場写真も使って必死に訴えました。

現場の状況をリアルに伝えれば、「検討する」「改善を指導する」という回答を得ることができましたが、根本的に問題を解決するために、もっと勉強し、もっと話を聞き、もっと実態を把握しなければ…と思っています。

暑い夏もうすぐ終わり、秋から冬…選挙と議会が続きます。

総選挙で日本共産党が勝利し、来年の京都市長選挙で市長を変えることが、暮らしを守り、平和な日本をつくる近道です。これからも

全力でがんばります。
(写真は亀岡市畑野の違法採石現場で)



安全・安心のすまい・ まちづくりに全力

久守一敏(伏見区)



初めての定例議会に、住民の願いや思いを届ける第一歩と張り切って望みました。本会議、常任委員会、特別委員会など運用や運営に決まりがありそうで、どう対応すれば住民のみなさんに伝えられるのか、届けられるのか、不安と期待の議会でした。

建設常任委員会では、①鴨川浸水想定区域図の発表に伴い、桂川・宇治川水系の浸水と合せての対応②府営住宅の結露問題や集合住宅等の二方向避難確保③新たな入札制度での、談合防止、府内業者・産品使用、小規模工事の登録制度検討④下請け指導・不払い、橋梁のアンカーボルトやコンクリート打設等の施工管理で質問しました。今後も公約実現に向けてがんばります。

総合交通対策特別委員会では、①橋脚の安全②高速道の交通量と召還③KTRや小型循環バス④高速道の見直しを求めました。

(写真は石村かず子衆院
京都3区予定候補と)



編集
だより

6月から事務局長になりました。よろしくお願ひします。力不足ですが、多彩な経歴と個性あふれる議員と事務局長の中で、楽しく仕事をしています。「府会だより」も今号から「わかりやすいものに」と一新しました。ご意見・ご要望をお寄せください。
(事務局長・榊井義行)